

平成 23 年度 金沢区民意識調査結果速報(概要)

【調査の概要】.....	1
【回答者の属性】.....	1
Ⅰ お住まいの地域や日常生活.....	2
Ⅱ 行政サービスについて.....	9
Ⅲ 防災・防犯について.....	11
Ⅳ 福祉・保健について.....	14
Ⅴ ヨコハマ3R夢(スリム)プランについて.....	15
Ⅵ 地域活動について.....	16

※ 今回の調査結果速報については、9月30日現在のものであり、今後の報告書作成にあたり数値等に変更があり得ることを御了承ください。

平成 23 年 9 月

金沢区役所区政推進課

【調査の概要】

対象	: 区内在住 20 歳以上男女 (外国人登録者含む)
対象数	: 3,000 人
抽出方法	: 住民基本台帳及び外国人登録原票から無作為抽出
調査期間	: 平成 23 年 7 月 6 日 (水) ~ 7 月 22 日 (金)
調査方法	: 郵送 (調査票郵送配布、郵送回収)
回答方式	: 無記名、選択式 (一部記入式)
有効回収数	: 1,906 人
回収率	: 63.5%

【回答者の属性】

性別

男性が 42.4%、女性が 54.5%である。

年齢

回答者は 60 歳~74 歳代が 31.1%と最も多く、次いで 50 歳代(16.2%)、40 歳代(15.4%)、75 歳以上 (14.0%)となっている。

住まいの形態

「持家一戸建て」が最も多く 48.0%、次いで「持家共同住宅(分譲マンション等)」が 29.5%、「賃貸共同住宅(賃貸マンション等)」が 14.9%となっている。

世帯の構成

「親と子(二世代)」が 54.2%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が 26.1%、「ひとり暮らし」が 8.6%、「祖父母と親と子(三世代)」が 5.8%となっている。

現在の職業

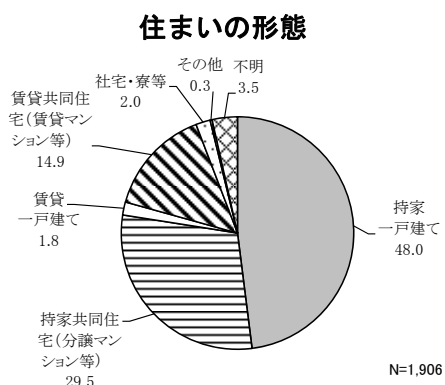
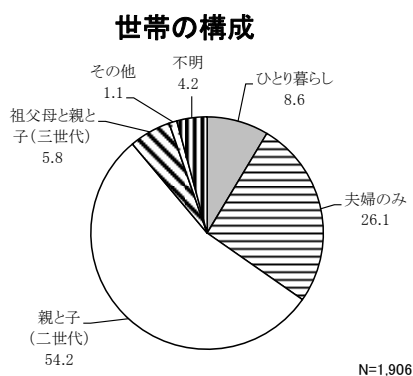
「会社員(公務員・団体職員等も含む)」が 28.8%で最も多く、次いで「無職」が 28.4%、「家事専従」が 16.8%、「パート・アルバイト」が 14.1%となっている。

通勤場所

「自宅」「同一町内」を含めた「金沢区内」が 34.8%で最も多く、次いで金沢区以外の「横浜市内」が 30.9%、「東京都内」が 17.5%、「横須賀市内」が 8.6%となっている。

お住まいの町

割合が高い順に、「釜利谷地区」(16.0%)、「六浦西地区」(13.4%)、「富岡第一・第二・第三地区」(12.1%)、「金沢シーサイドタウン」(11.3%)となっている。



Ⅰ お住まいの地域や日常生活

★要点

- ◇回答者の5割は20年以上金沢区に居住している。
- ◇今の住まいの場所を選んだ主な理由は「環境(住宅地、自然)」と「交通の便」である。
- ◇家からの最寄駅まで徒歩が約63%、バスが約25%、最寄駅までの時間は15分未満が約62%である。
- ◇「住みよい」「まあ住みよい」と答えた方は約9割で、前回までの調査と大きな差はない。
- ◇“住みよい”と感じる理由の第1位は「住宅地そのものの環境」第2位は「自然環境」。
- ◇地域の暮らしやすさで評価が高かったのは“まちなみや環境”と“交通の便”である。
- ◇心配ごとや困っていることの上位3項目は、「自分の病気や老後のこと」「家族の健康や生活上の問題」「景気や生活費のこと」である。
- ◇行政に特に力を入れてほしいと思う施策の上位3項目は、「防災・災害対策」「高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス」「防犯対策」で、前回の調査と比べ「防災・災害対策」で約23ポイント増加している。

問1 あなたは、今のお住まいの場所にいつごろから住んでいらっしゃいますか。

- ・平成3年(1991年)以前からお住まいの方(21年以上居住)が49.3%、平成4年(1992年)～平成18年(2006年)にお住まいになった方(6～20年居住)が34.7%、平成19年(2007年)以降にお住まいになった方(最近5年間に居住)が14.1%である。

問2 あなたが、今のお住まいの場所を選ばれた理由は何ですか。(複数回答)

- ・「住宅地そのものの環境」が35.4%、「家から最寄駅までの交通の便」が28.7%、「自然環境」が27.9%、「最寄駅から通勤・通学先までの交通の便」が21.7%である。

問3-1 あなたがお住まいの場所から最寄駅までの交通機関は何ですか。

- ・「徒歩」が62.9%、「バス」が24.7%である。

問3-2 お住まいの場所から最寄駅までは何分くらいかかりますか。

- ・「15分未満」が62.2%である。

問4 あなたは、今のお住まいの場所の「住みごち」をどうお感じになりますか。

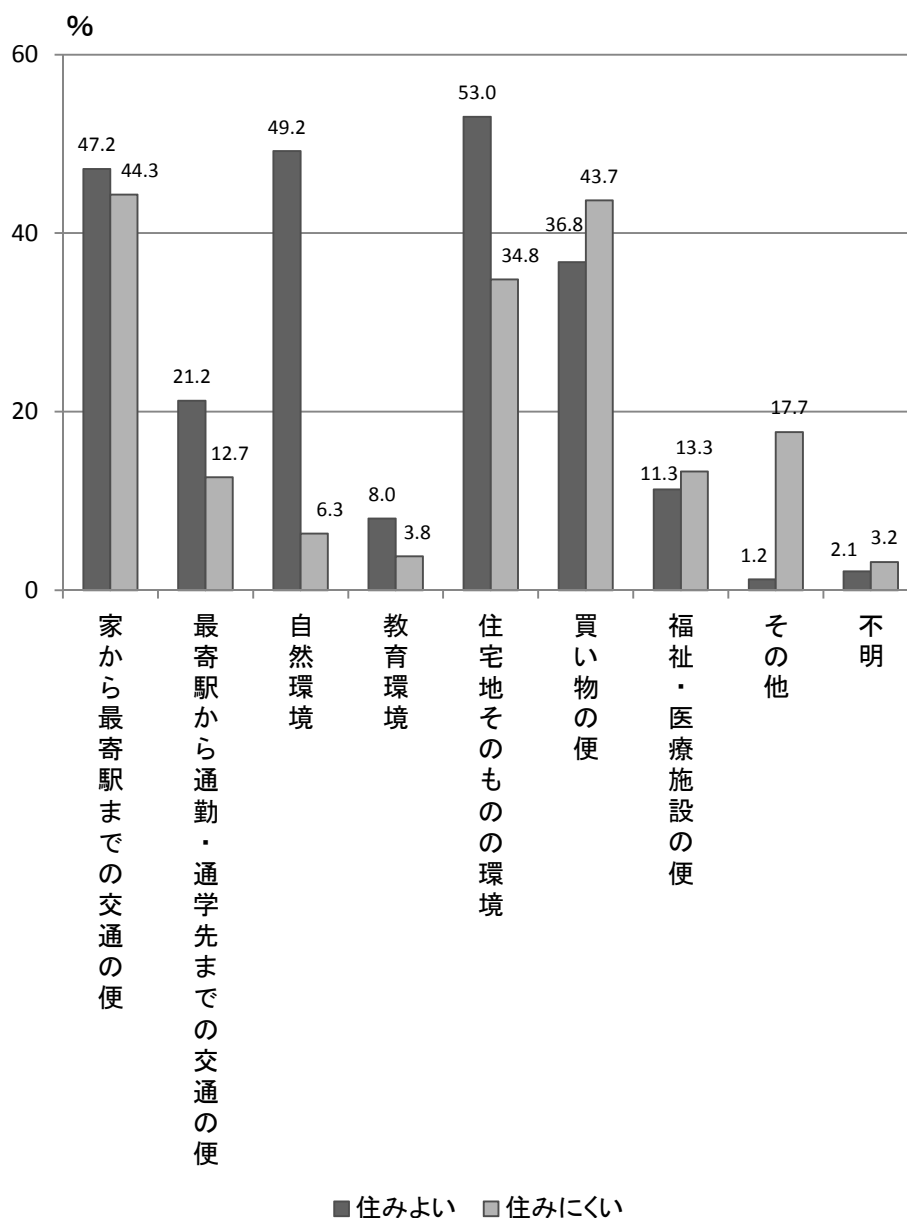
・「住みよい」が約4割、「まあ住みよい」が約5割で、全体の9割は住みやすいと感じている

	住みよい	まあ住みよい
今回調査	38.0%	52.0%
H21 調査	38.4%	52.8%
H19 調査	40.0%	52.8%
H17 調査	39.9%	51.3%

問5 (問4で1～4のいずれかをお答えの方に) そのように回答された理由は何ですか。(複数回答)

・“住みよい”(「住みよい」と「まあ住みよい」の合計)と感じている人の理由は、「住宅地そのものの環境」が53.0%、「自然環境」49.2%、「家から最寄駅までの交通の便」47.2%、「買物の便」36.8%の順である。

住みごちの理由



問6 あなたは、これからも今のお住まいの場所に住み続けるお気持ちですか。

- ・「住み続ける」「たぶん住み続ける」を合わせると74.8%が住み続けるとし、「たぶん移転する」「移転する」を合わせた移転意向は11.2%である。

今回調査		H19 調査	
住み続ける	34.1%	ずっと住み続けたい	47.9%
たぶん住み続ける	40.7%	当分は住み続けたい	40.4%
たぶん移転する	7.3%	できればよそへ移りたい	3.5%
移転する	3.9%	よそへ移りたい	1.2%
わからない	12.7%	特に考えていない	6.4%
無回答	1.3%	無回答	0.6%

問7 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさについて伺います。次の1～23の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「5 そう思わない」までの中から1つを選び、○印をつけてください。

まちなみや環境に関して

- ・「家々の植栽や街路樹などに緑が多く、気持ちが良い」「周辺が静かでよい」「緑地や水辺があり、自然が豊かでよい」では“そう思う”（※）割合が6割以上と高い。
- ・「近所の道路は、子どもや高齢者でも歩きやすい」「坂道や階段などが少なく、移動しやすい」ではそう思う割合が多いものの、“そう思わない”の割合も3割以上みられる。

施設や交通の便に関して

- ・「誰もがゆったりと過ごせる公園がある」「家から最寄駅までの交通の便がよい」「最寄駅から通学・通勤先までの交通の便がよい」「病院や診療所などの医療機関が近くて利用しやすい」「日常の買い物が便利でよい」では“そう思う”割合が約6割と高い。
- ・「保育所や幼稚園などが近くて利用しやすい」「学校や図書館などが近くて学習環境が良い」「高齢者や障害者のための施設が近くて利用しやすい」など、利用者が限られている施設の評価は“どちらともいえない”の割合が3割から4割みられる。

地域の住民に関して

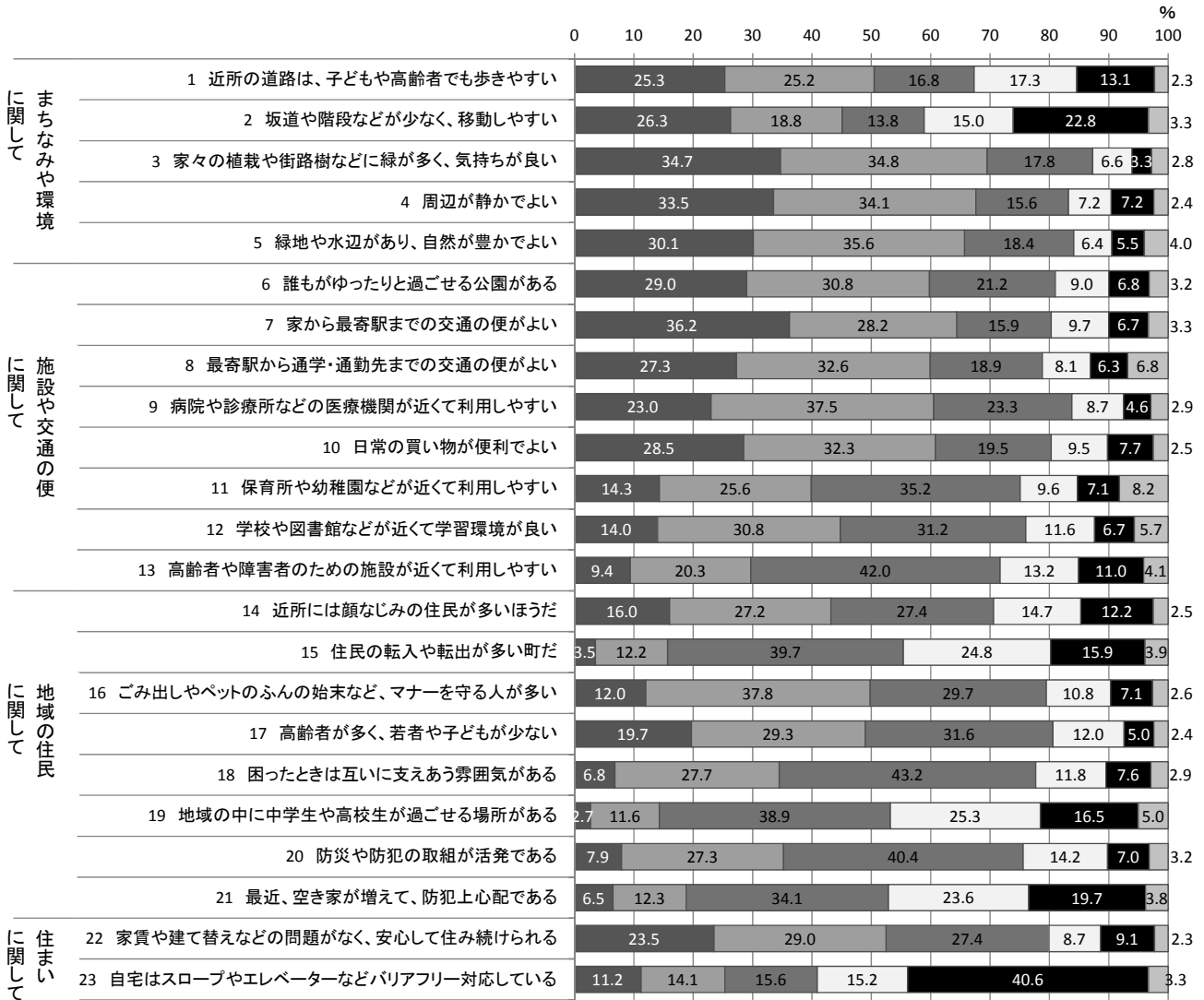
- ・「近所には顔なじみの住民が多いほうだ」「ごみ出しやペットのふんの始末など、マナーを守る人が多い」「高齢者が多く、若者や子どもが少ない」では“そう思う”割合が高い。
- ・「住民の転入や転出が多い町だ」「地域の中に中学生や高校生が過ごせる場所がある」「最近、空き家が増えて、防犯上心配である」では“そう思わない”の割合が高い。
- ・「困ったときは互いに支えあう雰囲気がある」「防災や防犯の取組が活発である」では“どちらともいえない”の割合が高い。

住まいに関して

- ・「家賃や建て替えなどの問題がなく、安心して住み続けられる」では“そう思う”割合が高い。
- ・「自宅はスロープやエレベーターなどバリアフリー対応している」では“そう思わない”の割合が高い。

※「そう思う」「どちらかというそう思う」を合わせて“そう思う”、「そう思わない」「どちらかというそう思わない」を合わせて“そう思わない”とした。

あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ

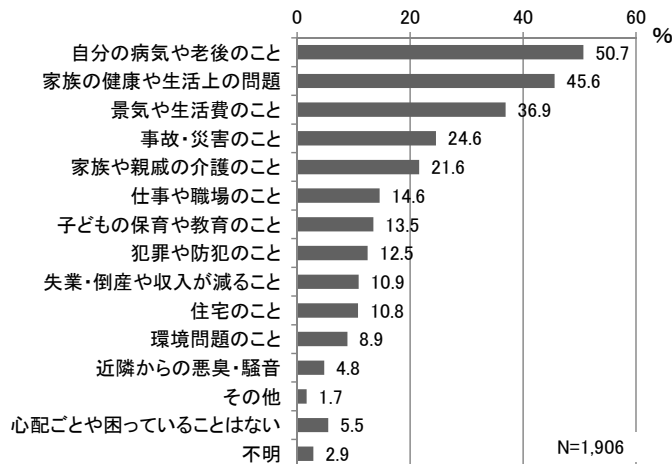


■ 同意 ■ どちらかというと思う ■ どちらともいえない □ どちらかというと思わない ■ そう思わない □ 不明

問8 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。上位3つを選んでください。

- 第1位～第3位の回答の全体の結果では、「自分の病気や老後のこと」「家族の健康や生活上の問題」「景気や生活費のこと」が心配ごとの上位3項目である。ちなみに第1位で挙げられた項目は全体と同じ、「自分の病気や老後のこと」である。

ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていること

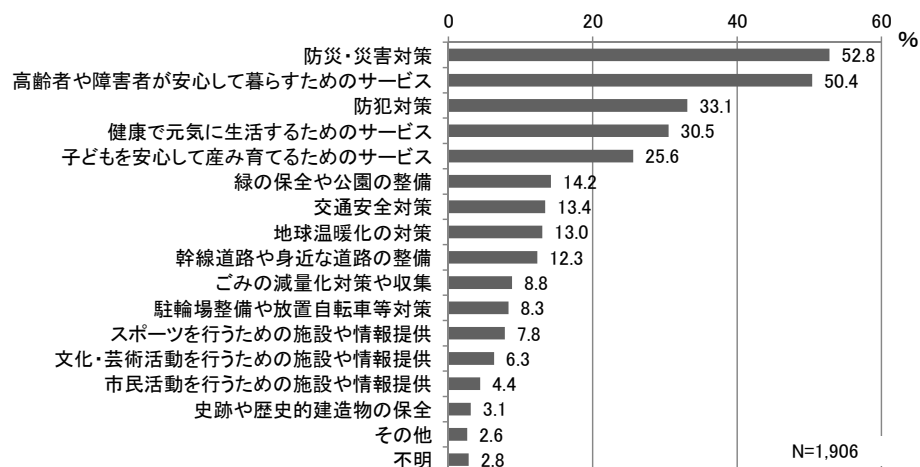


問9 あなたが日常生活を送っているなかで、行政に特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。上位3つを選んでください。

- 第1位～第3位の回答の全体の結果では、割合が多い順に「防災・災害対策」(52.8%)、「高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス」(50.4%)、「防犯対策」(33.1%)である。ちなみに第1位に挙げられた上位3項目は、「防災・災害対策」「高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス」「子どもを安心して産み育てるためのサービス」であった。
- 平成21年度調査、平成19年度調査結果で第3位であった「防災・災害対策」が第1位となっている。

	第1位	第2位	第3位
21年度調査	高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス (47.2%)	防犯対策 (43.9%)	防災・災害対策 (29.6%)
19年度調査	高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス (47.8%)	防犯対策 (44.7%)	防災・災害対策 (36.0%)

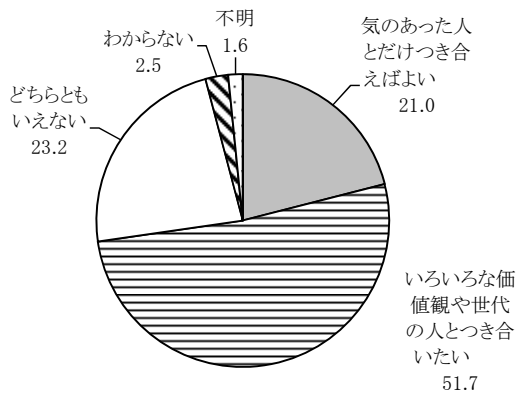
行政に特に力を入れてほしいと思う施策



**問 10 あなたは、最近の社会や人とのつきあい方など、1～10のことがらについて、どのよう
にお考えですか。**

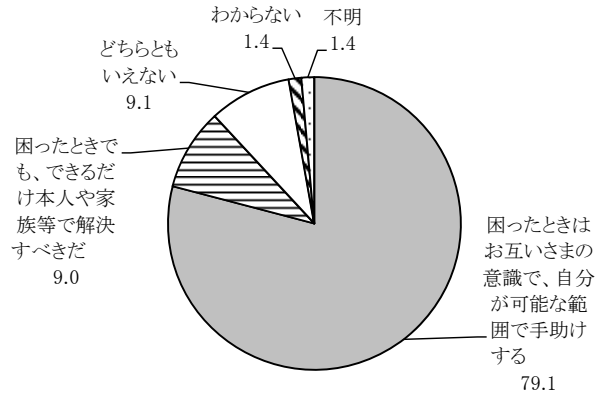
- ・比較的意见がまとまっている考え方（50%以上の人と同じ回答をしている項目）
「人とのつきあい方」「知人が困っているとき」「自分の居場所」「自分自身の評価」
- ・意見が大きく分かれている考え方（いずれの回答も50%に達していない項目）
「経済的に困っているとき」「住みやすいと思う地域」「信頼感」
- ・「どちらともいえない」の割合が大きい考え方（「どちらともいえない」がもっとも多い割合を示している項目）
「現代の社会」「役所への信頼」

1 人とのつきあい方



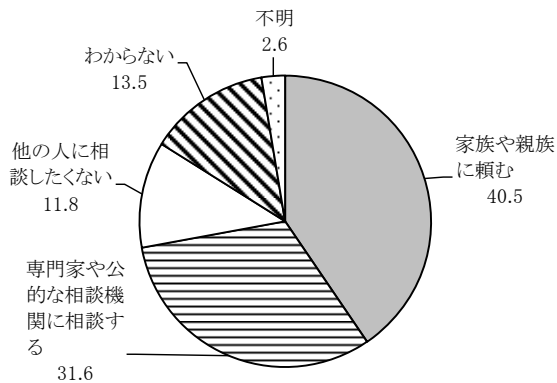
N=1,906

2 知人が困っているとき



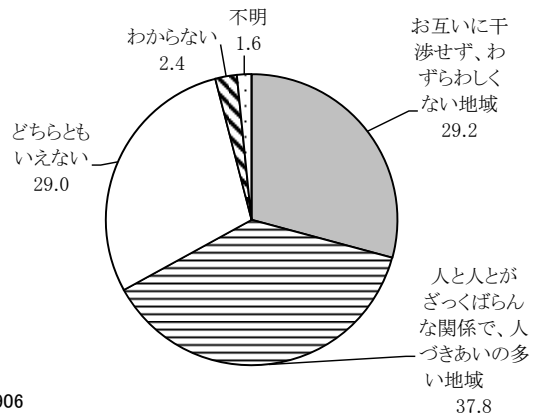
N=1,906

3 経済的に困っているとき



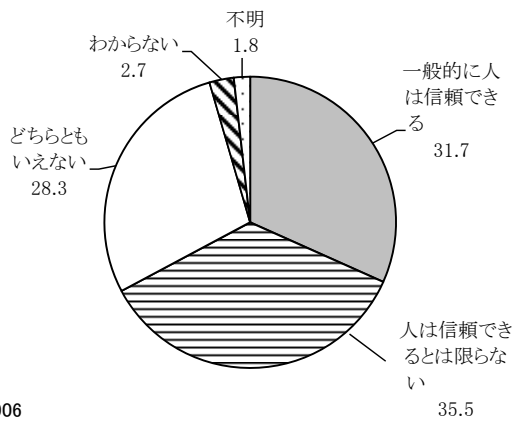
N=1,906

4 住みやすいと思う地域

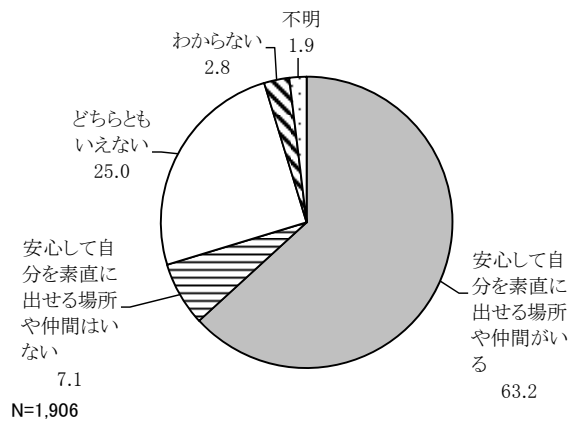


N=1,906

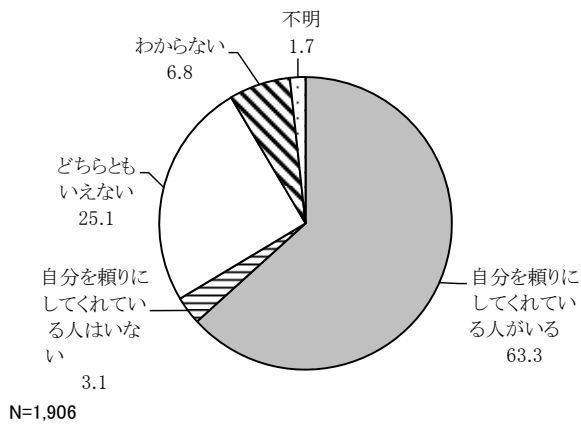
5 信頼感



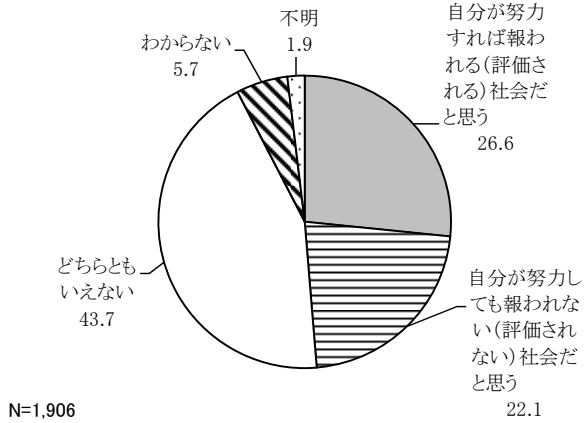
6 自分の居場所



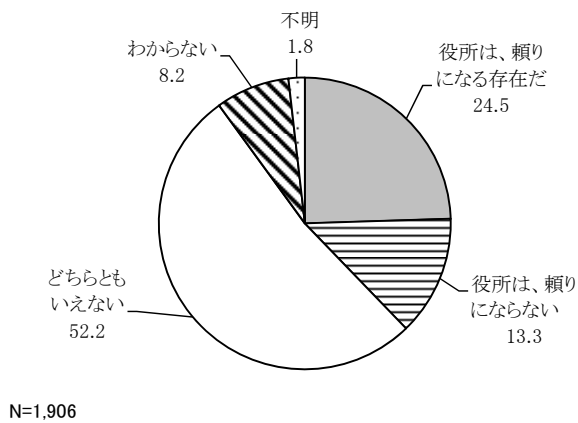
7 自分自身の評価



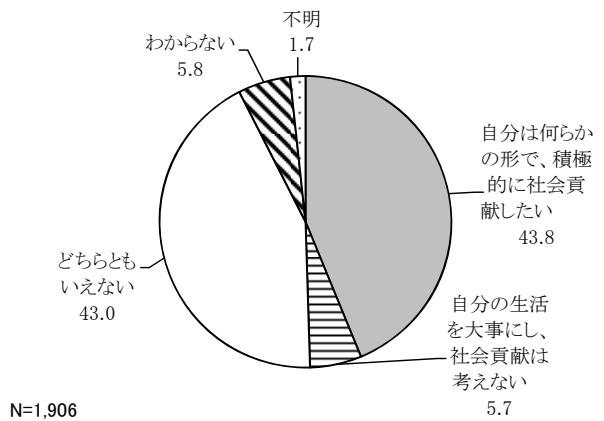
8 現代の社会



9 役所への信頼



10 社会貢献



II 行政サービスについて

★要点

- ◇「費用対効果が低くても、行政には継続すべきサービスがある。」「行政サービスの水準は上げて欲しいが、負担が増えるようなら現在と同じ程度でよい。」が多かった。
- ◇「ごみ出しの手伝い」「買い物の手伝い」は「個人や家族」、「地球温暖化対策の実施」「省エネルギーの実践」「ごみの減量化対策の実施」「日常生活の困りごとの相談」は「行政」が主体になって取り組むことがよいとする割合が多い。
- ◇「省エネルギーの実践」「ごみの減量化対策の実施」は現在「行っている」とする割合が多い。
- ◇行政サービスについて意見を述べる方法は、「区役所へ電話をする」、「区役所の窓口へ直接行く」、「自治会・町内会を通じて伝える」が上位3項目である。

問 11 今後の行政サービスの在り方について、次のような意見がありますが、あなたはどちらの意見に近いですか。

(ア) 行政の役割

A 行政は、費用対効果の低いサービスを縮小する。

B 費用対効果が低くても、行政には継続すべきサービスがある。

- ・「B 費用対効果が低くても、行政には継続すべきサービスがある。」が57.0%である。

(イ) サービス水準

A 行政サービスの水準が多少低下しても、税などの住民負担は軽いほうがよい。

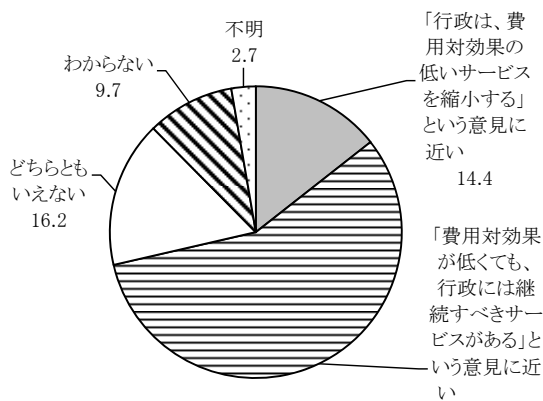
B 行政サービスの水準は上げて欲しいが、負担が増えるようなら現在と同じ程度でよい。

C 多少負担が増えても行政サービスの水準を上げて欲しい。

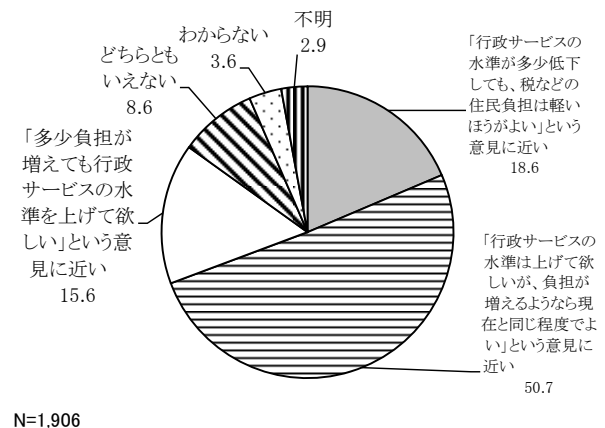
- ・「B 行政サービスの水準は上げて欲しいが、負担が増えるようなら現在と同じ程度でよい。」が50.7%である。

今後の行政サービスの在り方

行政の役割



サービス水準



問 12 次のような活動に対して、個人や家族、自治会・町内会、公益的団体、民間事業者、行政のうち、どこが主体となって取り組むことが良いと思いますか。

- ・「個人や家族」とする割合が最も多かったのは、「ごみ出しの手伝い」「買い物の手伝い」である。
- ・「自治会・町内会」とする割合が最も多かったのは、「気軽に行ける交流スペースづくり」「見守りネットワークづくり」「近所の子どもの見守りや預かたりすること」「親子で集える交流の場づくり」「災害時における高齢者等の安否確認」「災害時における高齢者等の避難の手助け」「防犯パトロールの実施」「身近な道路の清掃」である。
- ・「NPO、社会福祉協議会等の公益的団体」とする割合が最も多かったのは、「新たなボランティア活動の担い手の発掘・育成」「外出の介助（車での送迎を含む）」「日常生活（掃除、食事など）の手伝い」である。
- ・「行政」とする割合が多かったのは、「地球温暖化対策の実施」「省エネルギーの実践」「ごみの減量化対策の実施」「日常生活の困りごとの相談」である。
- ・「民間事業者」とする割合が最も多かった項目はなかった。

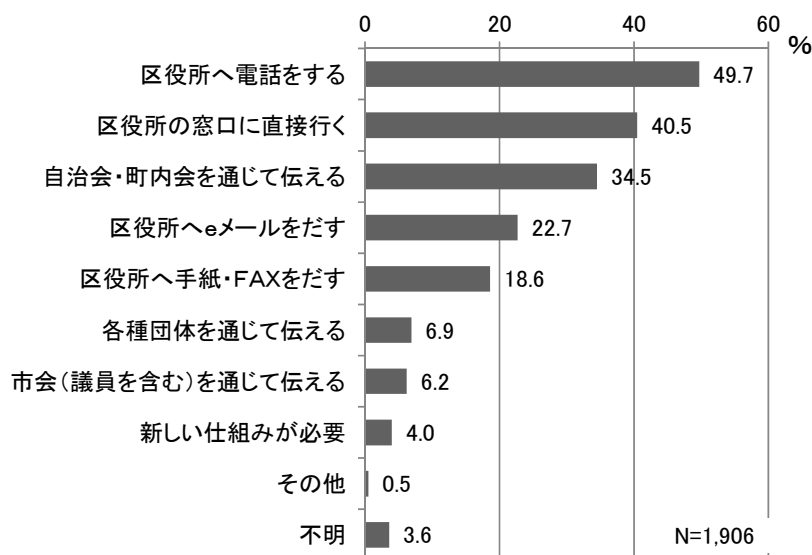
問 13 次のような活動に対して、あなたの活動経験などについて伺います。

- ・「行っている」とする割合が2割以上だったのは、「省エネルギーの実践」「ごみの減量化対策の実施」「身近な道路の清掃」「地球温暖化対策の実施」。
- ・「今後行いたい」とする割合が2割以上だったのは、「省エネルギーの実践」「ごみの減量化対策の実施」「身近な道路の清掃」「地球温暖化対策の実施」「災害時における高齢者等の安否確認」「災害時における高齢者等の避難の手助け」である。

問 14 金沢区が提供している行政サービスに対して意見を述べようとした場合、どのような方法を選ばれますか。（複数回答）

- ・「区役所へ電話をする」が49.7%と最も多く、「区役所の窓口へ直接行く」が40.5%、「自治会・町内会を通じて伝える」が34.5%である。

行政サービスに対して意見を述べる場合の方法



III 防災・防犯について

★要点

- ◇「お住まいの地域は安心して暮らせるところだと思いますか」の間では、「安心して暮らせる」が約6割であるが、「安心できない」とする人も1割弱いる。「安心できない」理由は災害よりも犯罪の方が多い。
- ◇大地震が起きたときに特に心配なことの上位3項目は、「水道や電気などライフラインの停止」「家族・知人の安否」「食料品、生活用品の確保」である。
- ◇大地震などの災害に備えて「懐中電灯」「食料や飲料水」「携帯ラジオ」は6割以上が準備している。一方、「携帯トイレ(パケットイレ)」については2割にも満たない。
- ◇自宅での対策として約5割の人が「家具の転倒防止」行っているが、「地震に強い家に建て替え、住み替え」「ガラスの飛散防止」「耐震診断や耐震補強の実施」を行っている人は1割未満。「特になにもしていない」人が約4割いる。
- ◇防災についての家族での話し合いは、「家族との連絡方法や待ち合わせ場所の確認」が約5割、「避難場所の確認」が約4割であるが、「話し合いをしていない」人も約2割いる。
- ◇日常、不安に感じている犯罪は、「空き巣」が約7割と多い。
- ◇7割以上の人が住宅用火災警報器を設置している。設置していない人の5割が「今後設置の予定がある」。

問 15 あなたのお住まいの地域は安心して暮らせるところだと思いますか。

- ・「とても安心」「まあ安心」を合わせた“安心して暮らせる”が60.7%であるが、「やや安心できない」「安心できない」を合わせた“安心できない”とする人も8.8%いる。

問 16 (問 15 で 4 もしくは 5 とお答えの方に) 安心できない理由は何ですか。

- ・「災害が心配だから」が28.7%、「犯罪が心配だから」が58.1%と、災害よりも犯罪の方が安心できない理由として大きい。

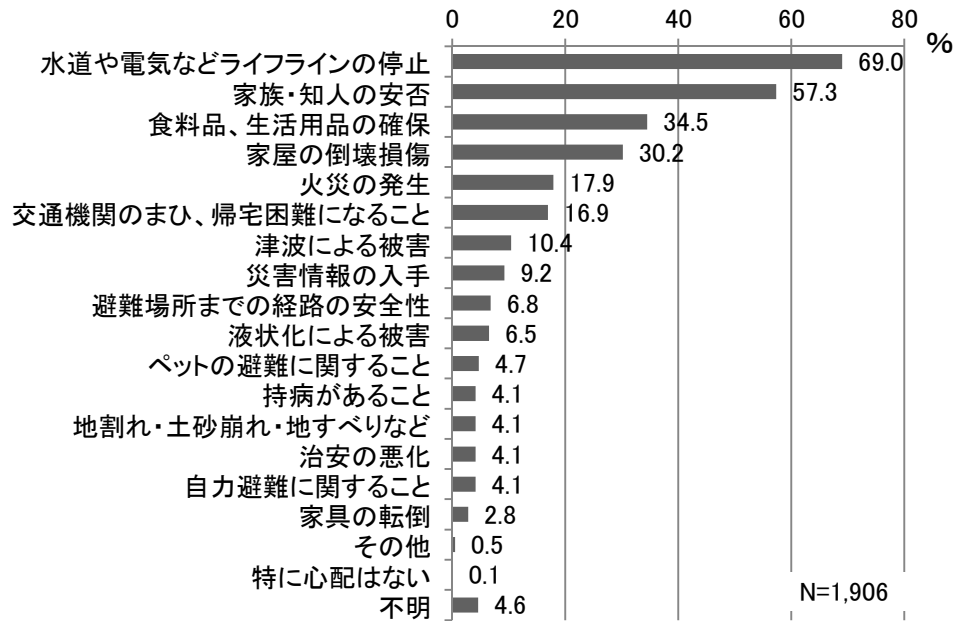
問 17 大地震が起きたときに特に心配なことをお知らせください。上位3つを選んでください。

- ・第1位～第3位の回答の全体の結果では、「水道や電気などライフラインの停止」「家族・知人の安否」「食料品、生活用品の確保」が、大地震が起きたときに特に心配なことの上位3項目である。ちなみに第1位で挙げられた項目は「家族・知人の安否」である。

上位3項目

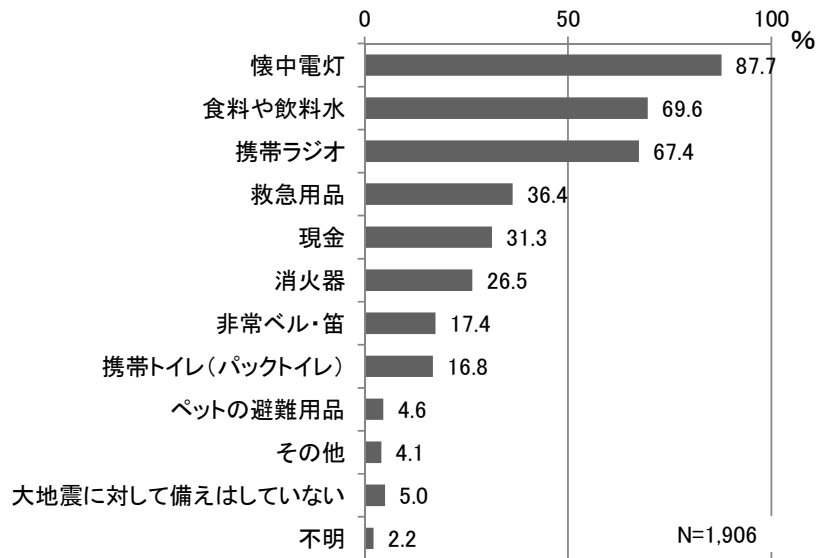
	1	2	3
第1位	家族・知人の安否	水道や電気などライフラインの停止	家屋の倒壊損傷
第2位	水道や電気などライフラインの停止	食料品、生活用品の確保	家族・知人の安否
第3位	食料品、生活用品の確保	水道や電気などライフラインの停止	交通機関のまひ、帰宅困難になること

大地震が起きたときに特に心配なこと



問 18 あなたは、大地震などの災害に備えて、どのような準備をしていますか。(複数回答)
 ・「懐中電灯」87.7%「食料や飲料水」69.6%「携帯ラジオ」67.4%が6割を超えている。

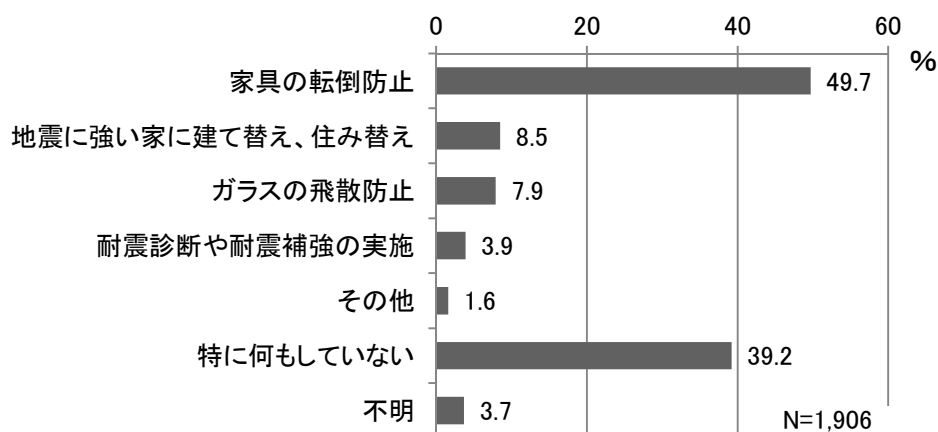
大地震などの災害に備えて準備していること



問 19 あなたは、大地震に対してご自宅でのどのような対策をしていますか。(複数回答)

- ・「家具の転倒防止」を49.7%の人が行っているが、「地震に強い家に建て替え、住み替え」「ガラスの飛散防止」「耐震診断や耐震補強の実施」を行っている人は1割に満たない。「特に何もしていない」が39.2%である。

大地震に対してご自宅で行っている対策



問 20 家族で防災について、どのような話し合いをされていますか。(複数回答)

- ・「家族との連絡方法や待ち合わせ場所の確認」が50.8%、「避難場所の確認」が42.8%、「家のなかの危険箇所の確認」が23.3%である。「話し合いをしていない」が23.1%である。

問 21 あなたが、日常、不安に感じている犯罪は何ですか。(複数回答)

- ・「空き巣」が68.5%、「ひったくり」が32.5%、「不審者による子どもへの接触・連れ回し」が26.4%である。

問 22 あなたのお住まいにはすでに住宅用火災警報器を設置していますか。

- ・「設置している」が75.1%である。

問 23 住宅用火災警報器を設置していない理由は何ですか。(複数回答)

- ・「近々設置の予定がある」51.3%を除くと、「設置の費用負担が大きい」16.2%、「効果があるとは思わない」16.0%、「設置が義務化されていることを知らなかった」12.4%、「自分で取り付けることができない」10.7%である。

IV 福祉・保健について

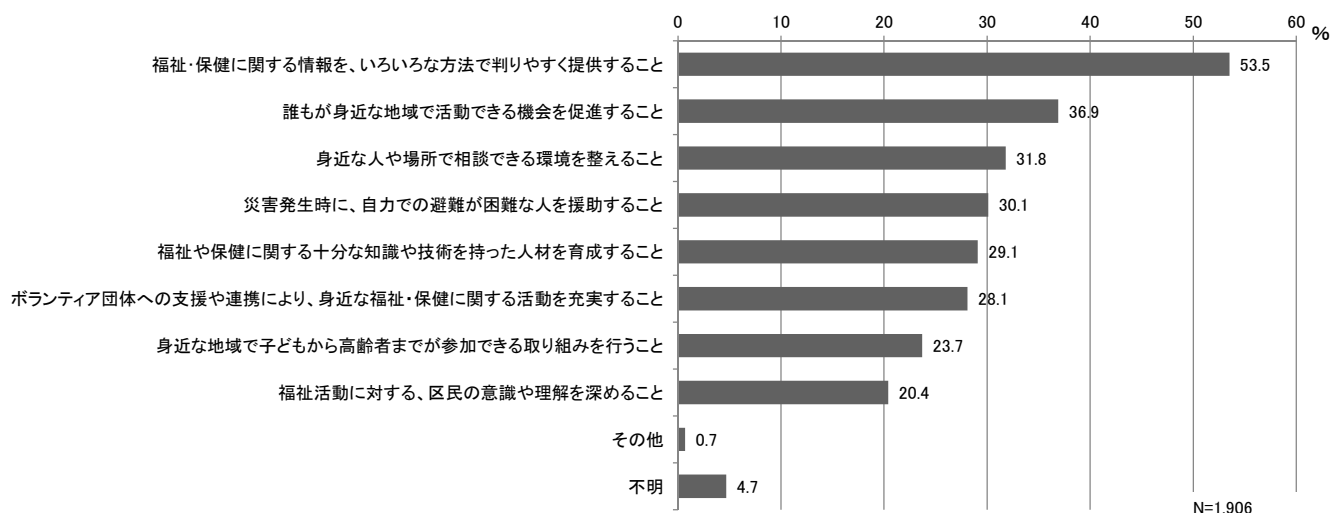
★要点

- ◇「今後、地域の支えあいを推進していくために、区民・事業者・行政などが共に取り組んでいくものとして重要なこと」では、「福祉・保健に関する情報を、いろいろな方法で判りやすく提供すること」が最も多く、5割を超えている。
- ◇日頃から健康のために心がけていることは、「規則正しい食生活を心がけている」、「十分な睡眠を心がけている」が5割を超えている。
- ◇高齢者が健康でいきいきとした暮らしを続けるために必要だと思うことは、「介護保険制度についての情報提供」、「身近なところで、交流・趣味活動などが楽しめる拠点づくり」、「隣近所で助け合える支えあいの仕組みづくり」が上位3項目である。

問 24 今後、地域の支えあいを推進していくために、区民・事業者・行政などが共に取り組んでいくものとして、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

・「福祉・保健に関する情報を、いろいろな方法で判りやすく提供すること」が53.5%と最も多い。

区民・事業者・行政などが共に取り組んでいくことの重要性



問 25 日頃から健康のために心がけていることはありますか。(複数回答)

・「規則正しい食生活を心がけている」が58.0%、「十分な睡眠を心がけている」54.2%が5割を超えている。

問 26 60歳以上の方におたずねします。近年、高齢化が進んでいます。高齢者の皆様が健康でいきいきとした暮らしを続けるために必要だと思うこと。(複数回答)

・「介護保険制度についての情報提供」54.9%、「身近なところで、交流・趣味活動などが楽しめる拠点づくり」44.5%、「隣近所で助け合える支えあいの仕組みづくり」40.6%が上位3項目である。

V ヨコハマ3R夢(スリム)プランについて

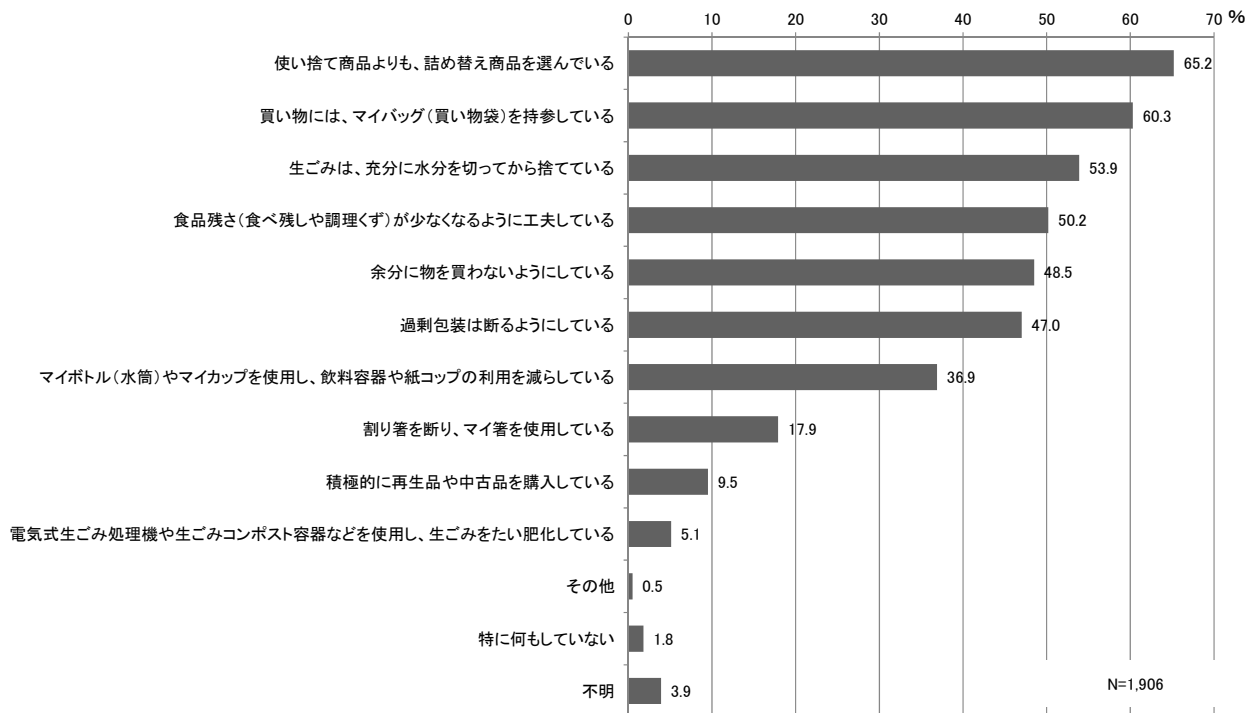
★要点

◇ごみと資源の排出量を減らすために気をつけていることでは「使い捨て商品よりも、詰め替え商品を選んでいる」、「買い物には、マイバッグ（買い物袋）を持参している」、「生ごみは、十分に水分を切ってから捨てている」、「食品残さ（食べ残しや調理くず）が少なくなるように工夫している」が5割を超えている。

問 27 あなたのご家庭では環境モデル都市横浜の実現に向け、ごみと資源の排出量を減らすために気をつけていることはありますか。（複数回答）

- ・「使い捨て商品よりも、詰め替え商品を選んでいる」が65.2%、「買い物には、マイバッグ（買い物袋）を持参している」が60.3%、「生ごみは、十分に水分を切ってから捨てている」が53.9%、「食品残さ（食べ残しや調理くず）が少なくなるように工夫している」が50.2%などとなっている。

ごみと資源の排出量を減らすために気をつけていること



VI 地域活動について

★要点

- ◇認知度が高かったのは「青少年指導員」で約6割である。
- ◇認知度が特に低かったのは「ハマロードサポーター」で約1割である。

問 28 行政が行っている次の活動や制度などについてご存知ですか。

- ・「青少年指導員」では、「名前も何をするのかも知っている」が 26.9%、「名前は知っているが何をするのかは知らない」が 35.3%と認知度が 62.2%であるが、そのほかの項目の認知度は低く、特に、「ハマロードサポーター」の認知度は 12.7%である。

